

学力の他に、社会に出るまでに身に着けておいたほうがよいことは何かを考える

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：グローバル化が進む中で、社会に出るまでに身に着けておくべきことは何ですか。

A：(1)話をするときには相手の話到最后まで耳を傾けること、相手の話がとまらないときには「ちょっとよろしいですか」と了承を求めること、人の話を聞くときには相手の目を見て聞くことが大切です。

(2)自分の考えや意見、感想などを述べる時も、相手の目を見て話すことが大切です。

(3)グローバル化社会では、「相手の目を見て」話を聞くこと、自分の考えを述べることが大事です。相手から目をそらすことは「失礼」にあたります。

Q：「相手の目を見る」ですか。日本人にはなかなか難しそうですね。グローバル化社会では「レディ・ファースト」も大事なのですか。

A：(1)グローバル社会では「レディ・ファースト」は常識です。バスや電車、飛行機、エレベーターなどの乗り物に乗るとき、降りるときには、女性に「どうぞお先に」と、先に乗り降りしてもらうのが「常識」です。女性同士の場合は、年上の方に「どうぞお先に」が常識です。バスや電車などで座席が空いているときには「レディ・ファースト」。年上の方やハンディのある方、妊婦の方にはサッと座席を譲ります。

(2)ただし、体調が悪いときや病気ของときには、無理に座席をゆずる必要はありません。御自分の体を大切にしましょう。

(3)男性同士でも、教養のある人ほどありとあらゆる場面で"After you"(お先にどうぞ)と譲り合うのがグローバル化社会です。

Q：“レディ・ファースト”、“After you”ですか。食事のマナーで大切なことは何ですか。

A：(1)食事中はできるだけ音をたてないことが大切です。椅子をひくときや、食器を置くときに音をたてないこと。つまり、ものは静かに動かすことです。食べるときは、ズズズとすすする音をたてないことです。

(2)食事は、料理が全員にそろうまで食べ始めないこと。これは1つ1つの料理にあてはまりません。すべての料理について、まだ料理がこない人がいるのに食べ始めないこと。相手のスピードに合わせて食べるのが大切です。

(3)ごちそうになった場合は、どんなに親しくても、また、親族であっても「今日はごちそうさまでした」と感謝を言葉に出して表すこと。グローバル化社会では、お礼をきちんと言えることが大切です。

Q : 会合や打ち合わせなどで大切なことは何ですか。

A : (1)時間に遅れないように到着すること、あまり早く行かないことも大事です。早く着いたら、近くで待っていること。約束時間の2～3分前に姿を現わすように心掛けましょう。

(2)持参したミネラルウォーターなどは、机の上に置かないこと。

(3)スマホは、人と会っているときには決して見ないこと。ケータイにも出ないこと。

(4)席から立つときは、椅子を先に戻すこと。

*椅子が元に戻せない人は、マナーが身に着いていない人という評価をされます。